

特定非営利活動法人 こども環境活動支援協会

2021年度 報告書



Learning and Ecological Activities Foundation for children

もくじ

■事業報告

持続可能な社会の担い手となる次世代育成に向けた事業	・・・ 1
森林資源の循環利用を通じた都市型里地里山事業の推進	・・・ 4
環境学習都市・西宮における各種実践を通じた国際協力	・・・ 5
社会課題解決や新たな価値創造に向けた各主体との連携・協働の推進	・・・ 7

各世代を対象とした総合的な生活力を育むプログラム体系の確立

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「密」をさけたスタイルで実施した事業を中心に報告致します。

■ 農体験、自然体験を取り入れた乳幼児及び家族向けプログラムの提供活動

- ・西宮市内公立保育所、幼稚園 11件
- ・「畑と山で子育て」1回 参加者：延べ29名（11/23 午前午後2回実施）
- ・農とくらしの学び塾（高学年）全15回実習日7回 土曜日コース 10家族、日曜日コース 9家族
※コロナ禍により活動日3日が未実施
- ・農とくらしの親子塾（低学年）全15回 10家族 代替日で対応して実施
- ・こども農業塾 全5回（6/27、7/25、9/26、10/10、11/28） 10家族
実行委員会：グッドホールディングス（株）・金田運輸（株）
（株）松田組・JR甲子園口ほんわかセンター街・LEAF
協賛：西宮ホワイトライオンズクラブ



「こども農業塾の様子」

■ 小学生を対象とした自然体験活動への支援

- ・小学校3年生を対象とした「環境体験事業」市内37件

■ 自然学校代替プログラム

コロナ禍で実施困難となった小学校5年生を対象とした「自然学校」の代替プログラムを甲山自然環境センター等で実施しました。11校 1,328名

■ 農体験、自然体験を取り入れた市民対象プログラム

- ・コープこうべ第2地区本部主催 農とくらしのミライ塾 全15回 10名、実習等25回
- ・コープの森・社家郷山 「森であそぼう！」 10回（うち2回は緊急事態宣言中により中止） 参加者数：209名
社家郷山と周辺農地などをフィールドにした家族向け（小学生親子対象）里山体験プログラムを実施しました。
※コロナ禍での屋外活動の機会の提供を目的に行いました。
- ・農とくらし・環境をつなぐサポーターズ 米作りイベント実施
- ・農とくらし・環境をつなぐサポーターズ種まき部
コープ集い場：わにな～れにしきたなどで、山のリースしめ縄づくりなどでワークショップを実施
- ・神戸女学院大学「地域活性化総合実習」3回生 農業指導15回 アドバイス及びイベントサポート10回
甲山農地を日常管理、作業指導、プログラムづくりへのアドバイス、イベント協力等を受託しました。

■ 学習教材として甲山産苗販売と植え付け指導

<販売>

西宮市内小学校

夏野菜 小学校 2校、保育所 4カ所 私立保育園 2カ所 お届けのみ

冬野菜 保育所 3カ所 ※お届けのみ 保育所 3カ所

伊丹市内小学校 15校、幼稚園、保育所 17ヶ所、特別支援学校 1校（イモ苗 2100本）

((株)大協支援プログラム)

<植え付け指導>

西宮市内 18件

活動を支援する拠点フィールド、施設の整備、管理運営

西宮市からの受託事業に係る体験的学びの拠点施設の運営について報告致します。

■ 西宮市環境学習サポートセンター（ミニミニ水族館）

併設されている「ミニミニ水族館」の見学を楽しんでもらうため、魚に関する「水族館クイズ」を毎月作成。延べ約13,954名の利用がありました。人数制限や館内一方通行の制限の中、開館しました。

■ 西宮市立甲子園浜自然環境センター（甲子園浜、3F：学習交流室、ミニミニ水族館の管理）

延べ約35,231名の利用がありました。

（新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、4月25日～5月11日、8/20～9/30 臨時休館）

2021年度は、開放的な自然環境を求め、センター隣接の甲子園浜や浜甲子園運動公園を訪れる家族連れ等が増えました。それに伴い来館者数も増え、トイレの清掃作業や消毒の回数が大幅に増えました。昨年度に引き続き水槽展示作業を中心に事業を行いました。

■ 西宮市貝類館（受託イベント、受付業務など）

一般来館者の他学校園等、団体の受け入れ 延べ10,206名の利用がありました。

（新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、4月26日～5月11日 臨時休館）

- ・学習支援（全11件 市内小学校等）
- ・イベント企画・運営：年間イベント26件423名（内8件中止、作品展等での来館人数を除く）、館内サービスプログラム（月1回）全10回 244名

* その他、緊急事態宣言を受けて、イベント中止に伴う代替案として、イベント材料販売や館内サービスの充実や施設オープン時には、ガイドラインにともづいて感染拡大防止に努めました。

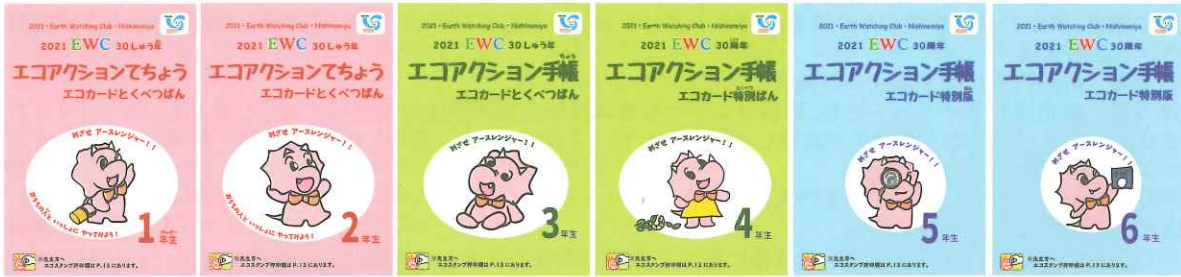
西宮市環境学習システム（エコカード活動等）の運営

■「エコカード」を中心とした活動

* 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の対策のため、学校・地域・お店でのエコスタンプ押印のしくみにかえ、児童が家庭での取り組みを中心に活動できるしくみにしました。

○配布物

- ・エコカード限定版を市内市立小学校児童約26,400名に配布
- ・EWCニュース 3回発行
- ・EWCポスター 2回発行



特別版エコカード「エコアクション手帳」

○認定

- ・アースレンジャー認定（エコスタンプ10個達成）：2,111名
- ・アースレンジャープラス認定（エコスタンプ20個達成）：962名
- ・アースレンジャーファミリー（家庭での取り組み達成）：501組
- ・アースレンジャー6（6年間毎年アースレンジャーになった子ども）：99名

■ 幼児向け「ちきゅうとなかよしカード」実施

西宮市内公立保育所23か所を幼児向けエコカード「ちきゅうとなかよしカード」を配布しました。活動内容については各園の自主性に委ね、概ね好評を得ました。

■ 西宮市内公立学校園への環境学習活動支援 74件

- ・小学校45件 4,373名
- ・幼稚園9件 340名
- ・保育所20件 504名

■ 環境体験事業（講師派遣）37件

市内小学校 35件 市外2件

- ・甲山2件、芦屋川1件、有馬川1件、大池1件、御前浜3件、甲子園浜12件、香櫛園浜1件、潮芦屋浜2件、夙川7件、名塩川1件、仁川4件、武庫川2件

■ EWC環境パネル展

開催期間：2022年2月9日（水）～20日（日）

場所：西宮市立市民ギャラリー

共催団体：西宮市教育委員会、西宮コミュニティ協会、西宮市環境衛生協議会、一般社団法人西宮青年会議所、西宮自然保護協会、公益財団法人西宮市国際交流協会、NPO法人こども環境活動支援協会

来場者数：1,698名

1992年からスタートした「2001年・地球ウォッチングクラブ・にしのみや」（EWC）事業は、30年を迎え記念すべき2021年度の「環境パネル展」では、過去からの活動の様子や特別展示を行いました。



EWC30年のあゆみ



上段：1992年からの歴代キャラクター大集結
下段：子ども達から集まった新キャラクター案

LEAF都市型里山里地ボランティア活動 登録ボランティア：47名

高齢者への新型コロナウイルス感染症の拡大が危惧されたこともあり、ボランティア活動については、4月～10月、2～3月は中止しました。同期間以外の実施内容は次のとおり。

- ・全体説明会
2回 参加者：延べ40名
- ・自然調査
植物、鳥類、昆虫の調査5回 参加者：延べ49名
調査結果(植物45種、鳥類17種、昆虫類33種)
- ・里山活動
湿原除草等の里山整備活動5回 参加者：延べ40名
- ・語り部活動(4月～10月・2～3月は活動中止)
甲山グリーンエリアの歴史、魅力などを学習 1回 参加者：8名



湿原除草作業

甲山周辺の自然調査

全国1000箇所程度のモニタリングサイトを設置し長期的に生態系、生物多様性の保全施策につなげることを目的とした環境省の事業「モニタリングサイト里地調査1000」（2018年度～2022年度まで）、西宮市立甲山自然環境センター事業による「都市型里山里地ボランティア活動」の活動として甲山周辺の自然調査を実施。

福祉作業所と連携した森林資源の有効活用

伐採木を活用したキャンプ場薪材の生産（一部作業をすずかけ作業所に委託）

甲山神呪寺農地、甲山鷺林寺農地

神呪寺農地は神呪寺の協力を得て、甲山農業塾を修了したLEAF会員による自主耕作地とLEAFの自主事業実施エリアで運営を行いました。同エリアでは、大阪ガス様、西宮ホワイトライオンズクラブ様、イオンスタイル甲子園様から寄付物品をいただき、新規事業として子育て世代を対象として、イベントを実施することができました。（以下のとおり）

甲山周辺の自然環境を豊かにする西宮市の生物多様性保全活動の一環ともなっています。

鷺林寺農地では、生活協働組合コープこうべ 第2地区本部との食農教育の取り組みもおこなっています。（P.1参照）

* 鷺林寺農地：登録ボランティア32名

* 神呪寺LEAF自主事業実施エリア

2021年度「こそだてファームらんど・甲山」春夏期・秋冬期（合計）延べ1,774名

土・日曜日と水曜日の合計7コースを統合し、各コースとも上限10家族を対象に実施



「こそだてファームらんど・甲山」
イオンスタイル甲子園寄付物品（虫かご等）



「こそだてファームらんど・甲山」
大阪ガス「つながるガス展」
テントとトイレを寄贈



西宮ホワイトライオンズクラブ
寄贈 エアーアーチ

JICAからの事業受託

2020年度に引き続き、世界的な新型コロナウイルス感染拡大の影響に鑑み、来日研修は実施せず、遠隔研修を実施しました。2021年度遠隔研修2コース、2020年度の来日視察研修代替案としての遠隔研修を2コース実施。コロナ禍での新たな試みとして、2020年度に続き未作成4本 遠隔研修用にオンデマンド教材づくりを行いました。遠隔研修には、Google workspaceを活用し、研修員との連絡調整やログ管理をとおした進捗状況の確認、モニタリングの実施等を行い研修内容の質の向上に努めました。

課題別研修「固形廃棄物管理の基礎 (C) コース」を受託

期間：2020年9月29日～2021年11月19日（複数年度契約）

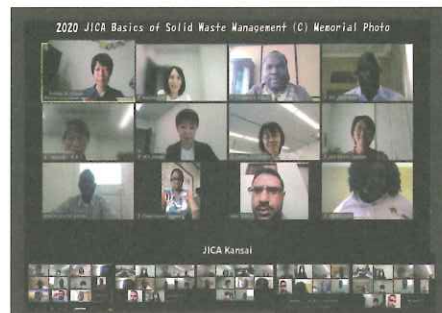
遠隔研修：2021年1月12日～7月31日

来日代替研修期：2021年9月14日～9月24日

モニタリング：5回実施

研修員：7名（イエメン・マラウイ・ジンバブエ・南スーダン）

長期研修となりましたが、脱落者もなく無事に研修を修了することができました。



課題別研修「循環型社会構築のための固形廃棄物管理（行政と市民の協働に重点を置いた）(A)」コース受託

期間：2021年1月8日～2022年1月31日（複数年度契約）

遠隔研修期間：2021年2月12日～9月15日

遠隔研修達成アセスメント期間：2021年9月16日～10月27日

来日代替研修期間：2021年11月18日～11月29日

モニタリング：5回実施

研修員：4名（ザンビア・ソロモン・エクアドル）

昨年度に引き続き、廃棄物に関する会員企業様を中心に取材協力を得ることができ企画・構成・撮影・編集等遠隔研修用動画教材づくりにチャレンジさせていただきました。



（取材協力：マツダ（株）・日本山村硝子（株）・（株）山村製壺所・（株）吉田製作所・（有）オートパーツ光伸）



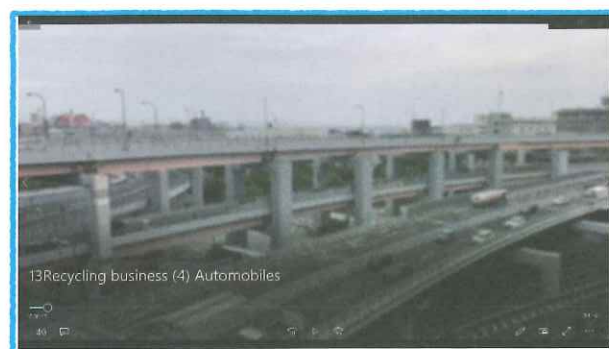
食品リサイクル等



ガラスビンの再商品化



ガラスビンの再商品化（金型）



自動車リサイクル

■ 課題別研修「固形廃棄物管理の基礎 (C) コース」を受託

期間：2021年7月26日～2021年11月19日

遠隔研修：2021年8月23日～10月7日

習熟度アンケート：6回実施

研修員：8名（アルメニア・バングラデシュ・コソボ・パレスチナ
南スーダン・スーダン・レバノン（オブザーバー参加））

wifi環境の悪い国なども多く苦戦しましたが、無事に修了できました。



■ 課題別研修「循環型社会構築のための固形廃棄物管理（行政と市民の協働に重点を置いた）(A)」コース受託

期間：2021年9月3日～2021年12月27日

遠隔研修期間：2021年9月27日～11月12日

習熟度アンケート：5回実施

研修員：9名（コモロ・キューバ・ジャマイカ・モーリシャス諸島
セントルシア・ソロモン諸島・トンガ）

草の根事業のカウンターパートにあたるソロモン諸島ホニアラ市より参加があり、スキームをつなぐことができました。



草の根技術協力事業

■ JICA草の根技術協力事業(2017年8月～2022年5月、4年9ヵ月事業)

「持続可能な地域づくりに向けた官民協働による環境学習推進プロジェクト」

事業対象国であるソロモン諸島においても「非常事態宣言」が発令されました。また政府よりテレワークが推奨され、昨年度に引き続き、プロジェクトマネージャーの渡航が困難となり、プロジェクトの期間が2023年12月まで延長することが決定しました。また、コロナ禍においても学校で活用予定の副教材「わたしたちのホニアラ」の編集の第一文案が集まりました。環境学習センター（自然環境）のオープンに向けては、現地職員が展示準備を進めてくれました。

* 今年度の主な活動

- ・ 環境学習センター（自然環境・廃棄物管理・コンポスト）運営に向けた準備
- ・ ホニアラ市環境情報センターの運営に向けた準備
コロナ対応に予算が使用され、施設のオープンは保留となりました。
- ・ 地域教材づくり冊子編集会議の実施（4回実施）
- ・ パートナーシップ委員会の開催（現地）
- ・ 西宮市とホニアラ市都市間交流コーディネート



グッピーの水槽展示



環境関連資料展示スペース



現地スタッフ作成の標本

西宮市等の諸団体と連携した持続可能な地域づくりに向けたネットワーク化の推進及び政策提言

- **西宮市環境計画推進パートナーシップ会議及び各部会への委員派遣**
環境計画推進パートナーシップ会議委員
- **エココミュニティ会議等活動コーディネート**
西宮市内各地域で設置されているエココミュニティ会議において、会議やイベント等の活動サポートを行いました。 18回
- **SDGs 関西プラットフォームへの参加**
- **各種団体への理事などの派遣**
 - ・（公財）コープともしびボランティア振興財団理事
 - ・兵庫県ユニセフ協会評議員
- **各種委員員への派遣**
 - ・JICA「大洋州地域廃棄物管理改善支援プロジェクト フェーズⅡ」国内支援委員会委員
 - ・（公財）コープともしびボランティア振興財団助成検討委員
 - ・スチール缶リサイクル協会「小・中学校における環境教育推進支援事業」審査委員
 - ・社会福祉法人西宮市社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会委員
- **大学への講師派遣**
 - ・神戸女学院大学「NPOマネジメント論」 後期 2回生 24名 (15回)
- **阪急阪神ゆめ・まちソーシャルラボへの講師派遣**
 - ・ゆめ・まち「森のおくりものでクラフト体験！」6/27
 - ・ゆめ・まち 大人の社会科見学in西宮 「①いまこそ甲山！大人のアウトドア入門」11/19
 - ・ゆめ・まち 大人の社会科見学in西宮 「②西宮の海と山がコラボ！オリジナルリースを作ろう」12/3
- **講師派遣**
 - ・西宮市保育所職員専門研修「西宮市の環境保育について」 (2回)
 - ・西宮市教職員初任者研修 (西宮市小中学校初任者)
 - ・武庫川学院武庫川女子大学付属保育園 5/26
 - ・生活クラブ生活協同組合都市生活西宮支部 8/11
 - ・兵庫県立淡路景観園芸学校 (兵庫県立大学院緑化景観マネジメント研究科) 7/24・夙川地区青少年愛護協議会 7/26
 - ・NPO法人はらっぱ 「子育てを支える自然の力」9/25
 - ・春風エココミュニティ会議 7/27・甲子園浜小学校5年生自然学校 10/6
 - ・西宮浜公民館 しめ縄づくり 11/26 ・春風公民館、春風エココミュニティ会議 しめ縄づくり 12/28
 - ・兵庫県立今津高等学校 10/21・ボーイスカウト阪神さくら地区 指導者講習会 11/23
 - ・JICAクリーンシティイニシアチブ ローンチセミナー 1/20
 - ・西宮市生涯学習大学 宮水学園「地形の成り立ちから西宮の環境と防災を考える」 1/17

大学生インターンシップ研修受け入れ

- ・神戸学院大学サービスマーケティング実習受け入れ(2名)
- ・公益財団法人損保ジャパン日本興亜環境財団 CSOラーニング制度での学生受入 (2名)

寄付物品

- ・大阪ガスつながるガス展「つながるプロジェクト」(こそだてファームらんど トイレ・テント)
- ・イオンスタイル甲子園「幸せの黄色いレシートキャンペーン」(こそだてファームランド虫かご等)
- ・西宮ホワイトライオンズクラブ(こそだてファームらんど エアアーチ)

名義後援

「実践活動としてのスチール缶を含む集団回収を通じて環境教育に取り組む
小・中学校への支援事業」スチール缶リサイクル協会

表彰

一般社団法人西宮高齢者事業団 創立50周年記念式典にて、社会貢献団体表彰をいただきました。1/11



特定非営利活動法人 こども環境活動支援協会 (LEAF)



事務所：〒662-0832 兵庫県西宮市甲風園1丁目8-1
TEL 0798-69-1185 FAX 0798-69-1186
e-mail: kodomo@leaf.or.jp
URL: <http://leaf.or.jp>